

# 自然体験は「生きる力」を育みます

町の中は、安全で快適な場所や建物が多いですよ。色づく葉っぱ、草花や焚き火の香り、雨や風の音、ごつごつの地面や雪の中など、自然の中で活動することは五感を刺激して、人間の心を揺さぶる感動体験を与えてくれます。

公園や外遊びもたくさんの良い影響を与えてくれますが、ありのままの自然は想像力や発想力をより高めてくれます。

## ①非認知能力とは

いわゆる知能テストや学力テストで測定されるものではない能力で、「意欲」「折れない心」「感情抑制」などが含まれます。

幼少期に積極的に自然と触れ合える環境を整えることにより、非認知能力を高めることができると考えられています。

## ②非認知能力と自然体験

非認知能力と自然体験は密接に関連していると考えられています。

幼少期に自然の中で遊んだり、自然の景色を見たりすることが、やり抜く力や問題解決力などに良い影響を与えていることがわかりました。

## ③生きる力を育む自然体験

たとえば家族でテントを張ってキャンプをしながら山歩きをしたり、バーベキューのために薪割りをしたり…

自然の中での挑戦と克服により、子どもたちは自信をつけ成長することができます。

また、自然の中の非日常体験から自分自身で考え、問題解決能力や判断力を養うことができます。

このように自然の中で遊んだり、自然と触れ合うことはとても重要な役割を果たします。



3月23日に開催した家庭教育講座では國學院大學北海道短期大学部教授の田中一徳先生をお招きして「『自然』は、最高の学び場」をテーマにご講演いただきました。

沼田町は自然が豊富にあります。ただ緑が豊かであれば良いものではなく、成長を後押しするためにはちょっとした「仕掛け」や「働きかけ」が必要です。

4月から開校している「そらち自然学校」では、その「仕掛け」や「働きかけ」がたくさん用意されています。教育委員会でも自然体験キャンプなどたくさんの体験活動を計画していますので、ぜひご参加ください。

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課（電話 35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

